



今月は「サウジアラビア」を覚えてお祈りください

サウジアラビアは、中東・西アジアの国家。首都はリヤド。サウード家を国王に戴く絶対君主制国家で、アラビア語による国名のアル＝マムラカ・アル＝アラビーヤ・アッ＝スウーディーヤは「サウード家によるアラビアの王国」を意味する。世界一の原油埋蔵量を持つ国であり、石油(原油)をアメリカ合衆国をはじめ世界中に多く輸出している。

サウジアラビアの経済・政治・宗教について

原油がサウジアラビアの経済の 75%～90%を構成している。原油によって経済活動やインフラの整備が支えられている。サウジアラビアは原油の輸出を通してイスラム教をも世界中へと広げている。サウジアラビア国内の雇用は外国人に支えられており、多くの若人々は、一部の富裕層を除いて十分な仕事を得ることができない。失業率は 20%～40%であり経済的な改革が必要だ。

サウジアラビアの政治は王朝によって堅く守られている。サウジ人の男性グループによる助言グループが王朝を支えている。

サウジアラビアはイスラム教以外の宗教を認めていない。ここにはイスラム教の聖地であるメッカがある。イスラム教以外を信じる人々も国に住んでも大丈夫だが、公にその宗教の活動をしたり、集まったりすることは禁じられている。

サウジアラビアのその他の情報

面積:2,240,000 km² (日本の約 5.9 倍) 人口:26,245,969(日本の約 20% 2010 年時点)



首都「リヤド」



普段の町の様子



イスラム教の聖地メッカのカアバ神殿

宗教:	
イスラム教	92.41%
キリスト教	5.43%
ヒンズー教	0.78%
無宗教	0.66%
仏教	0.42%
その他	0.30%

「すべての肉なる者よ。主の前で静まれ。主が立ち上がって、その聖なる住まいから来られるからだ。」ゼカリヤ書 2 章 13 節

祈禱課題

イスラム教の誕生地であり聖地であるサウジアラビアを覚えて

イスラム教はメッカを中心として世界中の数億人のイスラム教徒を支配し、多くの文化に影響を与えている。主イエスがこの宗教の中心地を揺るがし、ご自身の主権を現してくださるよう。サウジアラビアにおいてイエス・キリストが栄光を現してくださるのであれば、世界中のイスラムは変わることができ、それに支配されている者たちは自由になることができるだろう。

イスラムの信仰を支配しているメッカを覚えて

すべてのイスラム教派メッカに向かって一日 5 回の祈りをささげなければならない。年間、約 200 万人もの人々がメッカに巡礼の旅をしている。これが多くのイスラム教徒の信仰の形をつくっている。暗闇がその心をおおっているの、真の神を知らずに神を求めて旅をしている。一人でも多くのイスラム教徒が神を求めていく中で生きておられるイエス・キリストに出会うことができるように。巡礼の旅をしている人々の中には、夢や幻の中でイエスに出会ったものも多々いる。

迫害を経験する覚悟でキリスト教に回心するサウジ人たちを覚えて

サウジ人がキリスト教に回心したことが見つければ死刑になる。キリスト教徒の公開処刑も行われていることが報告されている。このような危険にも関わらず、密かにイエスを信じて救われる人の数は増え続けている。キリスト信者たちが忍耐をもって信仰の歩みを全うし、増え続けることができるように祈らなければならない。サウジ人たちがキリスト教を信じる奇跡的な自由が起こるよう。

イエスを信じて集まっている人々が安全に交わりを保ち、神のみことばによって養われることができるように。また、信じている者たちが、同じ信仰をもった伴侶を得ることができるように。